

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	芸術・文化振興事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	01	05	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	市民一人ひとりが芸術文化に接することにより、生活にゆとりと安らぎをもち、また、心のつながりやお互いを理解し、尊重しあう社会を育成する。
事業内容	四季の花々展の開催、モニュメント管理等。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度より芸術・文化振興事業の中にあつた、サロンコンサート、市民ギャラリー展、市民音楽祭は各事業別となり、大部分をアウトソーシングで実施。文化協会への補助金等を通しての支援も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	文化協会事業の参加者数	17280	16350	19119	人	↑↑↑	総会資料からの実績値
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	市役所ロビーでの四季の花々展（隔月）、流山おおたかの森駅構内にあるモニュメントの管理等を行っている。文化協会の行っている事業に対して補助金を交付し、文化協会の事業を支援している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		961,159	929,525	856,252				
事業費(b)(円)		810,559	792,225	789,132				
うち一般財源		810,559	792,225	789,132				
職員給与費(c)(円)		150,600	137,300	67,120				
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.01				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	既存の分野以外への働きかけや、若中年層の文化芸術ニーズを把握し、効率的な事業展開を促進するとともに、参加・出演の機会についての募集情報を提供する。	③取組の課題	文化団体の構成員が高齢化している。文化芸術振興基本法の改正にあわせて条例の改正を行ったが、政府が定める計画等の内容を注視する必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	文化協会等への補助金を通して文化芸術の振興につながる事業を推進した。また、文化団体と相談してより良い事業の推進を心がけた。	④今後(H30以降)の改善計画	政府が定める文化芸術振興基本計画の内容を踏まえて、今後、事業の改善の必要性を検討する。今後も若中年層の文化芸術ニーズの把握に努めていく。